
基地対策調査特別委員会会議録

- 1 開催年月日 平成25年 5月14日(火曜日)
開会 午後 3時35分
閉会 午後 3時58分
- 2 開催場所 京丹後市役所 3階 302会議室
- 3 出席委員 池田委員長、松本聖司副委員長
金田委員、川村委員、田中委員、谷口委員、谷津委員、藤田委員、
松本経一委員、森委員、吉岡和信委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員外議員 なし
- 6 会議録署名委員 藤田委員
- 7 参考人 なし
- 8 紹介議員 なし
- 9 説明のための出席者 なし
- 10 議会事務局出席職員 中田議会事務局長、西山議会総務課長、議会総務課大木主任
- 11 会議に付した事件
 - (1) 5月20日の議員全員協議会における質問事項について
 - (2) 今後の日程について
 - (3) その他
- 12 議 事

開会 午後 3時35分

○池田委員長 それでは、ただいまから第6回の基地対策調査特別委員会を始めます。

まず、現地視察、御苦労さまでした。

会議録署名委員に、藤田委員を指名いたします。

それでは、本日の内容です。お手元のレジュメのまず1番、5月20日に議員全員協議会を開催いたします。その質問事項について調整をしたいということで、きょう、清風クラブと雄飛会と共産党から出ております。

特に、質問事項がかぶってないかとかそういうあたりをチェックしていただければと思います。こんな質問はどうかというのがもしもあれば。

共産党の10番と雄飛会さんの③は同じですね。それと、どちらかに質問させて……。よろしいか。

そしたら、順番にいきます。

清風クラブの2つについてはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○池田委員長 次に、雄飛会。3番については調整するというので、1から6まで。6番については、この間、説明しましたが、全協の場でやる必要があることでしたら置いときましょうか。よろしいか、雄飛会の質問。

○川村委員 吉岡豊和議員が直接事務局のほうへ送ってきたということで、僕もそれ、初めて見たので、特別委員会で聞いておりました、特に入れてもらっても……。

○田中委員 あの資料は配付が決まったのでしょうかね、ほかに。まだしてないのかな。

○川村委員 してもらってもそれでいいと思うけど。

○池田委員長 よろしいか、6番。

(「はい」の声あり)

○池田委員長 次に、共産党、たくさんあります。1番は考える。

○松本経一委員 聞くのもいいですか。

○池田委員長 気がついたところを言ってもらったらいい。

○松本経一委員 先ほどのところですけど、13の意味がよくわからないのですが。要は、前科があるかないかということを示せということなのか。経歴というのはどういうことなのか。海兵隊が何か特別な意味があって海兵隊なのかどうかということか。犯罪者なのかどうか。

○田中委員 そういう意味と違って、海兵隊とか経歴、主に警備に当たる人だという経歴を持った人が来られるのか。

○松本経一委員 主にどういう職業の人かということ。

○田中委員 そういう意味。いろいろ言われているのです、元海兵隊の人が多いたか、元警察とか。どういう経歴の人が来られるのか。

○池田委員長 ちょっと私からですけど、14番、聞かないといけませんか。

○田中委員 一部、第1種になっているので、方法的にどうかという意味合いで書いているだけのことです。

○谷口委員 特定公園法と農地転用申請はどういった関係はあるのか。

○谷津委員 その絡みは関係ない。

○池田委員長 関係ないけど、両方とも法律があるということで……。関連がどうではなく、両方とも申請手続が要するという事。

よろしいか、14番、そのまま。向こうの判断に任せましょうかね。答えられなければしゃあない。

○松本聖司副委員長 ⑨ですが、新たな迎撃ミサイル配備されるなど、機能拡大はあり得ないと言えるのかという、これは自衛隊のことを指して言っとるということですか。

○田中委員 両方ですね。

○松本聖司副委員長 米軍のほうはあり得ないという説明を一回、やりましたね。米軍のほうの機能強化はあり得ないという説明が全協の中でありました。

○田中委員 防衛省の話の中でね。

○松本聖司副委員長 話の中でありましたので、その分は必要ないというはずですね。自衛隊のほうという意味合いで理解してもいいですか。

○田中委員 もう一度、明確にしておきたかったということ。

○松本聖司副委員長 そういう意味ね。

○池田委員長 ほかにありませんか。

1点、私のほうから。7番の元自衛隊幹部も証明しているというのは、これは公の場で言われたのか。

○田中委員 車力の検討委員会、あの中で触れておられました。

○池田委員長 あの中でありました。

よろしいですか。

○田中委員 この前、水の問題で上下水道というか、そこに対して事前に聞いてくとか、そういうことはありませんか。その件についてはどうでしょうか。

○池田委員長 私のほうから。京丹後市への要望については、一定、ほかにもたくさん、今、共産党が挙げておられますね。一旦、これはそれでもう一度、委員会として挙げるべきことをして、それで水の対応はどうするのかと、1日ごとの対応を京丹後市としてはどう考えておられ

るか。京丹後市独自でしなくてはいけないことが出てきます。それはそれでまた改めていきたいと思います。委員会として意見交換もちょっとしたいと思っていますので、よろしいでしょうか。

今回、共産党が挙げています京丹後市の要望というのは、今回の全協にはちょっと。防衛省に対しての全協ですので、これは参考意見として認めさせてもらってもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**池田委員長** それでは、質問については以上です。

それでは、次の今後の日程について。

とりあえず、私のほうとしては全協が終わってからまた考えたいなと思っておりますけれども、特に委員のほうで、こういうことということがあれば。私、一つ、気になるのが、地元とのことは本当にいいですか。前回のときにはよかろうということでしたが、それが1点、気になる。

○**松本経一委員** ないか、あったほうがいいのか、どちらがいいと言われたら、それはあったほうがいいでしょうけども、どうです、現実的に。

○**森委員** この間、峰山の会場でも防衛省に対する質疑の中で、地元の声も、防衛省に対してというよりも、議会に対してというふうに僕は受けとめて聞いたけれども、やっぱりそのような意見もきっちり聞いてほしいという声が婦人のほうから出てはあったので、そういうことも考えた場合に、できるだけ後で特別委員会、地元の声も実際、何も聞かなくてということが出てくると、やっぱりちょっとまずいかなと。どういう形でやるのかはもう考えていかなければならないとは思いますが、そういうことは留意をしておく必要はあるのではないかなというふうに思います。

○**池田委員長** どうでしょうか。今後の進め方として、やる方向で進めさせてもらったらいいか、ちょっと私、それ、気になりました。委員会として最終報告を出すのにしても、地元の声を何も聞かんと委員会をやるとというふうに言われるのはちょっと。

○**森委員** しんどいで、そう言われてしまうと。

○**池田委員長** 我々も十分、地元の声や市民の声はわかるとるつもりですが、そういう場を一回も設けてないということと言われると、よっぼどつらいです。

○**川村委員** そうですけども、発言の中で人前でははっきりと物が言いにくい環境であったと、地元としては、というようなことも言われました。そしてそれをもったことによって本当に住民の気持ちが伝えられるかどうか、その点もちょっとわかりませんし、ちょっとじっくり考えたほうがいいと思います。

○池田委員長 ほかにいいですか。

○吉岡和信委員 なかなか今、微妙な段階に地元が入っとるみたいです。うちの会派の話をすれば、うちは久美浜と、昨日、峰山でしたのですが、実はこの袖志でも行きたいなと思って打診したんです。今、非常に微妙な段階で、そのことについて受け入れについてちょっと協議が要るというような。私どもは全く実はそういう意図ではなくて、ただ単に久美浜とか峰山の延長で、会派としての報告会を持ちたいと思っていたのですが、何もXバンドに全く限ったということではない。それでもすごくその辺が敏感になっておりまして、今、川村委員が言いましたように、では物がはっきり言えるのかどうかということもありますし、ではこの特別委員会で9月の視察は一定、出しましたね。ではそれを受けてどんな報告をしようか。ただ聞きましたということだけで、袖志に入りました、尾和に入りましたという、それ以上のことに多分、もう踏み込めないと思います。仮に現地に入っても。津軽のようなあのような賛成か反対かというような報告書は多分、書けないでしょう。だから、本当に川村委員が言ったような部分もあるし、地元の区長ともしあれやったら委員長のほうで十分、コンタクトをとって入れるような状況にあるのかなのか、難しいところですね。ちょっと私、電話でやりとりしたのですが、早く言ったらちょっと置いといてほしいと、率直に言えばちょっと触らないでほしいというような感じでした。

○池田委員長 私は両方というたらおかしいけども、声は聞くのです。議会は一つも住民の声を聞いてくれないというのが実は私のところに電話がかかってくるのです。そして、私も議会はやっぱり説明できる立場ではないです。ただ、声は聞かせてもらう場を必要かもわかりませんが、と返していますが、やっぱり聞いてほしい思いを持っておられる住民の方もおられるみたいですが、全てではないですが。

○吉岡和信委員 そのとおりです。

○池田委員長 そこをどうするかなというのがちょっとひっかかかって、きょう、皆さんに諮らせてもらいたい。ただ、区長にすれば確かに吉岡委員が言われたような思いだと思います。もう少し様子を見ましょうか。それと、私のほうで区長とちょっと調整させてもらって。

○松本経一委員 それと、峰山の会場でおっしゃった、僕直接は行けなかったのですが、要は、地元では言いにくいということもあったと思います。大勢の人前では正直なことが言いにくいと。話を聞くにしてもどこでするかというのは、ある意味、また今度、出てくる声と物すごい作業をするのではないかと思うんです、わかりませんが。そこも物すごい微妙な気がしますが、そこら辺どうでしょう。例えば、峰山のほうですると、尾和や袖志のほうでしょうというのが

は、全然、何か違うような気がしますし、デリケートな気がしますけど、いかがでしょう。

○**池田委員長** 私も同じ意見で、やりようによっては同じことになってしまうので、言いたい人が言えなくなるような可能性もある。ちょっとこれは考えさせていただくということで、ちょっと今。

○**森委員** ただ、頭には絶対に置いておかないと、そういう声が出てくるということもあり得るので、ただ時期とどこがいいかということについては、今、出されているように、ある意味では慎重に運ばないと。かといって、形式だけで終わるようなことでは余り意味もないし、もう少しちょっと見てもいいのかな。

○**吉岡和信委員** 時間を置いて委員長にその辺を探ってもらって、区長からは、電話で感じたところのある種の心配は、微妙な時期に入っている中で、当然、集落内にはそういう声を聞いていただけないとかそういう声の一部にはある。だから、村が2分するのではないかというような、そういうケースをあえて、私のところは会派で気楽に考えてお願いしました。今、あつあつになっているところをさわらないでくれというような感じはありましたね。だから、せまい集落ですので、その中でこのことで村が2分したり、意見が分かれるような状況を、そういう機会は避けてほしいということだったかなと思いますが。決して拒否はしてなかったですけど。

○**池田委員長** それでは、今後の日程についてほかにありますか。

(「なし」の声あり)

○**池田委員長** なければ、その他。

事務局ありますか。

○**田中委員** この前ちょっと言っていました説明会の議事録というか、メモというか。

○**西山議会総務課長** 議会運営委員会で市が市民に対して行った説明会の会議の記録を資料請求しました。内容については、防衛省のほうがまとめた内容なので、ちょっと出してもいいというチェックを入れてもらう必要があるのではということでしたので、一応、16日までに出せるものは出していただいて、まだ新しいものはできてないので、それは市民と議会の懇談会に事務局のほうから全議員に持っていかせていただきます。そういうことになっております。

○**池田委員長** それでは、終わります。

どうも御苦労さまでした。

終了 午後 3時58分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

委員長 池田 恵一

署名委員 藤田 太

+